



# 馬印青梅情報 2016年3号

2016年5月10日発行  
中日本氷糖株式会社

## 『いよいよ梅の季節！』



5月も中旬に差し掛かり、ジメジメとした梅雨、暑い夏が迫ってまいりました。ぐっと気温が上がるこの時期には、食欲も減退し、夏バテする方もちらほら。冷房の効いた室内と、暑い屋外の気温差に対応するために、人に備わっている体温調節機能に負担がかかります。また熱帯夜で睡眠不足になってしまい、体がエネルギー切れを起こしてしまいます。そんなヘトヘトの体には、梅の成分であるクエン酸が効果的です！！酸味で食欲増進はもちろん、疲労物質である乳酸の分解を促し、血液をサラサラにしてくれます。近年ではがん予防やアンチエイジング効果もあると言われております。今年も梅酒、梅シロップで暑い夏を乗り切りましょう！！

### 梅の状況(和歌山県の南高梅を中心に)

【生育状況】平年より1週間程度早く推移しており、4/25現在での定点観測地点の実肥りは平年比108%となっております。青梅の出回り時期は、古城が5/20ごろ、南高梅が5/25ごろと予想されており、同様に平年より1週間程度早い見込です。出荷時期のピークも早まることが予想されますので、例年より早めの売場展開、ご発注をお願い申し上げます。

【収穫量】前年比104%、平年並の作柄と見込んでおります。近年、加工用(梅干し)需要が弱いこともあり、青梅としては十分な量が確保されるものと予想しております。

【雹(ひょう)】3月下旬に一部地域で雹が降り、被害を受けた木もありますが、影響は限定的なものと予想されます。



(2016年5月6日 和歌山県にて撮影)

【今後の生育状況】適度な雨と日照があると、順調に生育します。『一雨ごとにプワッと大きくなる』という言葉もよく聞かれます。病害虫が発生しないことはもちろんのこと、気象状況にも気を配りながら、出荷時期を見極めていきます。

### 【生理落果】

5月初旬に梅林に行くと、少し小さめのたくさんの実が足元に落ちています。もったいない、と感じますがこれが無くてはならない梅の生理現象で、生理落果と言われます。

もし実をたくさんつけたまま、大きくなってしまうと木のエネルギーを大量に消費してしまい、自らを傷つけてしまいます。そのバランスを木自身が取っているのです。(上記写真は生理落果が終わったあとのものです。)

### 氷砂糖の販売価格

量販店様売価は下記を参考に、ご案内いたします。  
平成28年度一般量販店シーズン売価予想(税抜)

ロック	398~428円
クリスタル	388~418円

今後とも『馬印の氷砂糖』をよろしくお願いいたします。